

# 新庁舎建設を考える13



## 新庁舎の設計者を選定

市では、新庁舎の基本設計・実施設計を行う事業者を今年4月から公募し、プロポーザル方式で選定を進めてきました。

6月26日、8事業者が参加したプレゼンテーション審査を公開で実施しました。学識経験者などで構成する南九州市新庁舎建設設計業務委託事業者選定委員会が、設計業務の取り組み体制や6つのテーマをもとに審査を行いました。

最優秀者には、各課題においてバランスよく提案した株式会社山崎設計九州支社（福岡市）、ゲンプラン設計株式会社（鹿児島市）の共同企業体が選定されました。災害に強く長期的な視点に立った合理的で堅実な構造と外観、環境に配慮したグリーン庁舎の実現や魅力的な市民利用空間の提案などが高く評価されました。

## オフィス環境整備支援業務事業者を選定

新庁舎の設計と合わせて、庁舎内の分かりやすい案内表示やプライバシーに配慮した窓口、快適な待合ロビーや執務空間などを具体的な形にしていくオフィス環境整備支援業務の事業者をプロポーザル方式で選定しました。

公募により参加した3事業者を審査した結果、コクヨマーケティング株式会社九州支社（福岡市）が最優秀者として選定されました。

【問】 知 新庁舎建設推進課



公開審査当日は、会場（ちらん夢郷館）に23人が傍聴に訪れました。

## 名誉市民赤崎勇氏のご遺族より図書カードが寄付されました！

本市の名誉市民である赤崎勇氏のご遺族より、南九州市へ図書カード6万円分の寄付をいただきました。この図書カードは、令和3年4月に従三位（国家・公共に対して功績のあった者が死亡した際にその者の生前の栄誉を表彰し、追悼の意を表すもの）を受章された記念に作成されたものです。赤崎氏が若者たちへ「本当に好きなことなら、どんな困難でも続けられる。自分の可能性を信じて進んでほしい」という言葉を遺されたことから、市では赤崎氏の生前の意思を尊重し、本市の中学生に有意義に活用してもらおうよう、6月23日・27日、2万円分ずつ市内3中学校の代表者へ贈呈しました。

額娃中学校の西一葉さんは、「ノーベル賞の授賞者が南九州市の出身であることにビックリしました。自分たちの可能性を信じて、たくさん学び有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。



額娃中



知覧中



川辺中